

ひかり引込工事施行方法

戸建て住宅用

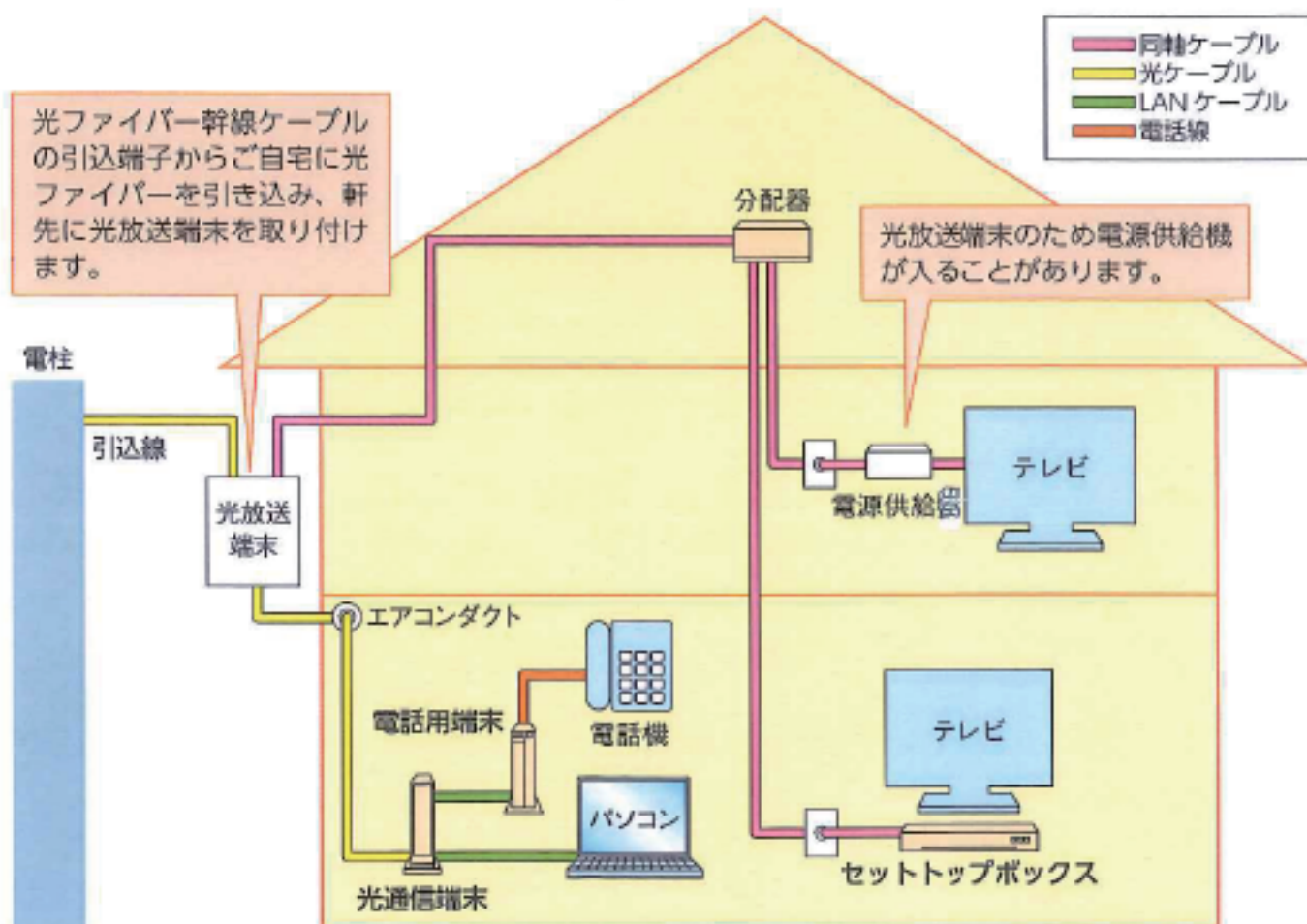
つくばのケーブルテレビ

ACCS

一般財団法人 研究学園都市コミュニティケーブルサービス



宅内工事・接続イメージ その1



宅内工事・接続イメージ その2

建物に引き込んだ専用配線（光ファイバー）を、テレビは既存の宅内配線へつなぎ込んで設定。ネットや電話は、入線したお部屋に光通信端末を取り付けます。

●テレビ

光放送端末から既存の宅内配線へのつなぎ込みとセットトップボックスの取り付け・テレビ・レコーダー（DVD等）の調整を行います。



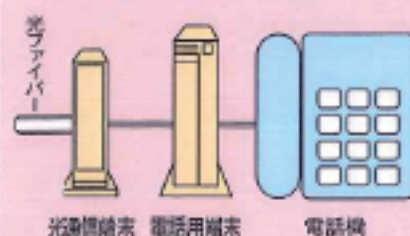
●インターネット

光放送端末からエアコンの穴などを利用して、通信用の専用線（光ファイバー）を入線し、光通信端末を取り付け、LANケーブルにてパソコンに接続します。



●ケーブルプラス電話

光放送端末からエアコンの穴などを利用して、通信用の専用線（光ファイバー）を入線し、光通信端末を取り付け、LANケーブルにて電話用端末に接続します。電話機を電話線にて接続します。



ひかり引込工事要領

a. ポール引込の場合

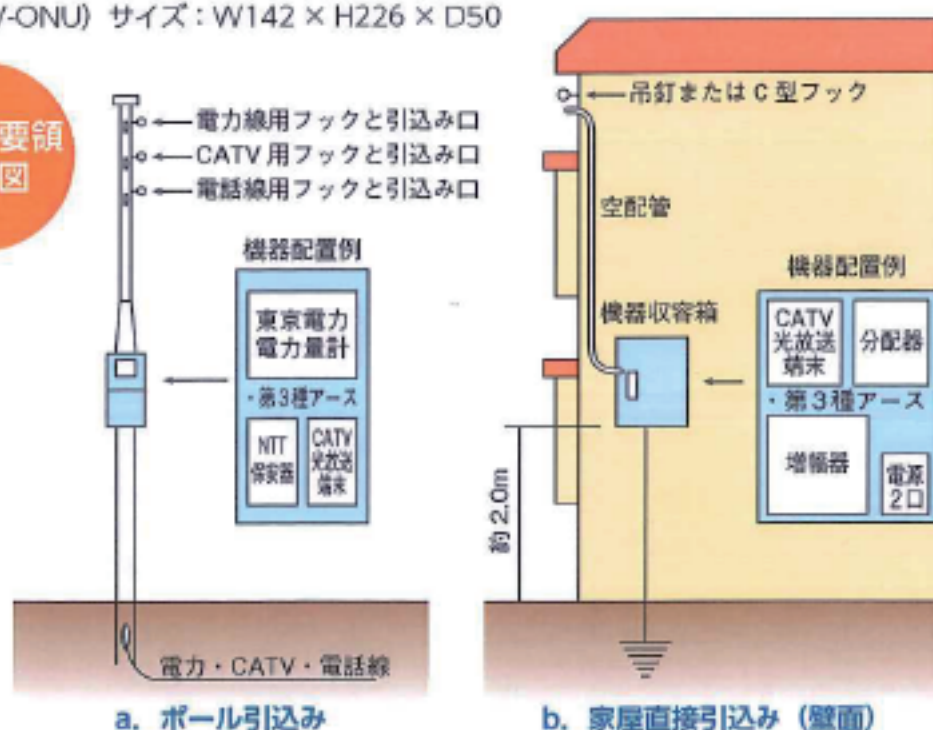
- 1 電気、電話、ケーブルテレビ兼用引込みポールを使用して下さい。
- 2 上記の引込みポールでない場合は、引込用フック、引込口、ポール内配管、光放送端末 (V-ONU) 取付け用ボックス (W200 × H400 以上で木版のついているもの) を設けて下さい。ケーブルテレビ用引込口は、NTT 引込口の上に設けて下さい。
- 3 上記内容を守っていただかない場合は、配線が外部に露出いたします。
- 4 ボックス内にアース (第3種接地) を準備して下さい。家屋側から引込ポールのボックスまでの配管 (2条、テレビ用・通信用) 及びテレビ用ケーブルを配線して下さい。
- 5 上記配線の際、ケーブルの途中接続は絶対に行わないで下さい。
- 6 使用するケーブルは S-5C-FB もしくは同等品以上のケーブルを使用して下さい。
- 7 通信サービスを利用する場合は、テレビ用配線とは別に専用配線が必要となります。

b. 家屋直接引込み (壁面) の場合

- 1 ケーブルテレビの幹線設備が通っている道路側の壁面に、引張強度に耐える金物 (吊釘または C 型フック等) や、光放送端末 (V-ONU) 取付けスペース (W200 × H400 以上) のあるボックス (分配器、2口コンセント等を設置したほかに取付けスペースがあるもの) を地上から 2m 程度の位置に取付け、ボックス内に宅内用ケーブル S-5C-FB を出して (1m 以上) おいて下さい。
- 2 ボックス内にアース (第3種接地) を準備して下さい。
- 3 通信サービスを利用する場合は、テレビ用配線とは別に専用配線が必要となりますので、ボックス内に通信サービス用の空配管を準備して下さい。
- 4 ケーブルテレビ用フックは、NTT 用フックの上に設けて下さい。
- 5 必要に応じてフックからボックスまでの空配管を用意してください。
- 6 光放送端末 (V-ONU) の取付け位置は、保守が容易に行える高さ (地上から 2m 前後) に設置できるようにして下さい。

※光放送端末 (V-ONU) サイズ: W142 × H226 × D50

引込み要領
参考図



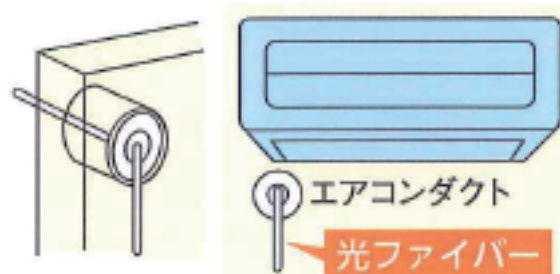
宅内配線設計について

- 1 配線方式は、分岐・分配方式とし直列ユニットによる送り配線方式は行わないで下さい。
- 2 増幅器（ブースター）・分岐器・分配器等は必ず外部の点検しやすい場所に設置し、機器収納ボックスに収納して下さい。やむをえず天井裏等に設置する場合は、必ず天井裏出入り口箇所の点検しやすい場所に設置して下さい。
- 3 TV 端子の端子レベルはデジタルの場合、65dB 以上 80dB 以内を目標に設計をお願いします。
- 4 光放送端末（V-ONU）は高出力【デジタル 85dB】ですので通常、増幅器（ブースター）は不要ですが、光放送端末（V-ONU）出力端子から TV 端子までの損失が 25dB 以上となる場合は、増幅器（ブースター）を設置して下さい。
- 5 増幅器（ブースター）の選定に当たっては、前項の損失をもとに CATV 帯 (770MHz) と BS-IF 帯に対応した製品を選定して下さい。
- 6 増幅器（ブースター）を設置する場合は、ボックス内に電源（AC100V）とアース（第3種接地）を必ず用意して下さい。
- 7 テレビ端子に、光放送端末の電源供給器を設置する場合がありますので直列ユニット、分配器等は、電流通過型を用意して下さい。

宅内引込方法

※ネットまたは電話サービスを利用する場合は、光放送端末より光ファイバーをテレビ配線とは別に配線するため、壁面に光ファイバー貫通穴が必要になります。

■エアコンダクトを使用する場合



■壁に穴を開ける場合

